

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	(1)定時株主総会、期末配当金 3月31日 (2)中間配当金 9月30日 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡下さい。	
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物の送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (受付時間 土・日・祝祭日を除く9時～17時)
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
【特別口座について】 株券電子化前に、「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。	
公告方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載します (http://www.sansha.co.jp)。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

株式会社 三社電機製作所

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
TEL 06-6321-0321 FAX 06-6321-8621
URL <http://www.sansha.co.jp>



証券コード：6882

株主様向けアンケート 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6882

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ [e-株主リサーチ事務局]
TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
MAIL: info@e-kabunushi.com



SanRex LEADING THE NEW POWER ELECTRONICS ▶▶



第82期 中間株主通信

2015年4月1日～2015年9月30日



経営理念

社会に価値ある製品を

常に社会の求める製品の創造につとめ、よりよい品質によって、社会の発展に貢献する。

企業に利益と繁栄を

常に衆知を集めて企業の繁栄をめざし、利益の確保につとめ、社会的責任を全うする。

社員に幸福と安定を

常に新たな英気をもって未来をみつめ、信頼と協調によって、社員の幸福と安定したくらしをはかる。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、平成27年9月30日をもって第82期事業年度の上半期を終了いたしましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

平成27年12月
代表取締役社長 **四方邦夫**

第82期(2016年3月期)第2四半期までの事業の概況についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善と設備投資の増加により全体では緩やかに回復基調をたどりましたが、中国及び新興国経済の成長見通しが鈍化するなど、先行きの見通しに不透明感が高まる状態となりました。

このような事業環境の中、当社グループは今年度、中期経営計画の最終年度を迎え、引き続き「創エネ・蓄エネ・省エネ」に貢献できる『エネルギー・ソリューション・カンパニー』を目指し、社会に価値あるパワーエレクトロニクス製品の拡販に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体事業は主力の一般モジュール等が前年同期比で減収となり、電源機器事業は一般電源で評価用大型設備電源等の納入により増収となりました。これらの結果、売上高は109億4千3百万円(前年同期比9.9%増加)となりました。利益につきましては、営業利益は10億3千2百万円(前年同期比36.9%増加)、経常利益は10億1百万円(前年同期比32.2%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千8百万円(前年同期比34.1%増加)となりました。

今後の取り組み課題と今期見通しについてお聞かせください。

当社グループは、今期がパワーエレクトロニクス技術を活かした「エネルギー・ソリューション・カンパニー」を目指すべき姿と定めた3ヶ年中期経営計画の最終年度を迎えることから、本年4月に「事業統括制の導入」と「ものづくり推進本部の設立」を行い、開発から生産、販売までを一体とした事業運営を確立し、国内外で社会に価値ある製品の提供を行っております。

また、当社グループは、無停電電源装置やパワーコンディショナ等に代表される最新のインバータ制御技術を活用するインフラ系の電源システムや、金属表面処理用電源・溶接機等のニッチな分野に集中特化し、設備用電源市場で長年にわたり培ったものづくりのノウハウを最大限に活用することを目指しております。

当社グループの新たな成長に向けた取り組みにより、製品の販売やアフターサービスを通してお客様が求めるニーズの発掘を進めるとともに、半導体事業と電源機器事業の安定した成長を目指した市場の開拓にも取り組んでまいります。

株主還元についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への利益還元を最も重要な経営課題のひとつとして位置付けるとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行することを基本的な経営方針としております。また、内部留保金については、将来の事業展開を見据えた設備投資などに活用してまいります。

当期の中間配当につきましては、前中間期より3円増配の10円をお支払いさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高



営業利益 / 営業利益率



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの四半期(当期)純利益についても科目名を統一しております。

Topics 1

「第10回 日経IR・投資フェア2015」に出展しました

2015年8月28日から2日間にわたり東京ビッグサイトで開催された「第10回 日経IR・投資フェア2015」に出展いたしました。このフェアは、上場企業と個人投資家が直接コミュニケーションを取ることができる日本最大級のIRイベントです。

当社のブースでは、ビデオ放映やパネル展示の他に、約15分間の会社説明会を開催し、当社の事業内容、製品、業績、配当についてプレゼンテーションを行いました。これにより、多くの個人投資家の皆様に少しでも当社を御理解いただいたと思っております。

今後もこのようなイベントを活用して情報発信を積極的に行ってまいります。



会社説明会



第10回 日経IR・投資フェア2015 入口

Topics 2

「第3回 関西太陽光発電システム施工展」に出展しました

2015年9月2日から3日間にわたりインテックス大阪(大阪市)で開催された「第3回 関西太陽光発電システム施工展」に出展し、太陽光発電と蓄電池の併用が可能な「蓄電池付きパワーコンディショナ」や、フルモデルチェンジにより機能アップした「無停電電源装置」などを展示いたしました。

また当社は太陽光発電関連のセミナーも開催し、多くのお客様に当社の製品と技術に高い関心を持っていただくとともに、今後は蓄電池を活用した製品のラインナップを充実し、お客様のニーズに応じてまいります。



第3回 関西太陽光発電システム施工展

Topics 3

「無停電電源装置BACKUPS 1000シリーズ」の販売を開始しました

当社は、50年にわたる産業用無停電電源装置の開発で培った技術を結集し、業界トップクラスの性能を実現した「BACKUPS 1000シリーズ」の販売を開始しました。

新型の無停電電源装置は、急激な電圧の変動によるバックアップ動作に切り替わる回数を減少させ蓄電池の消耗や劣化を防ぐとともに、フルカラータッチパネルの採用で運転状況の確認と操作を容易に行うことができます。

高度情報化社会を支えるデータサーバー、各種オンラインシステムや通信機器が停電等で緊急停止した際のバックアップ電源として、当社の無停電電源装置が私達の生活基盤を支えています。



BACKUPS 1000シリーズ

Topics 4

「インバータ等電源装置用ダイオード/サイリスタモジュール」の販売を開始しました

近年、インバータをはじめとする各種電源装置に対し、省エネ、省資源化及び長期信頼性の向上が求められています。また、欧米を中心とした市場において、高電圧や急峻なノイズにも強いモジュールへのニーズが高まっております。

これらのニーズに応えるべく、当社は各種電源装置の開発で培ったノウハウと独自の半導体技術を融合したダイオードサイリスタモジュールを発売しました。

本製品は独自の低積層化工法による熱抵抗の低減と熱ストレスの緩和によって長寿命化を実現し、また、鉛はんだを廃止することで地球環境にも配慮しています。



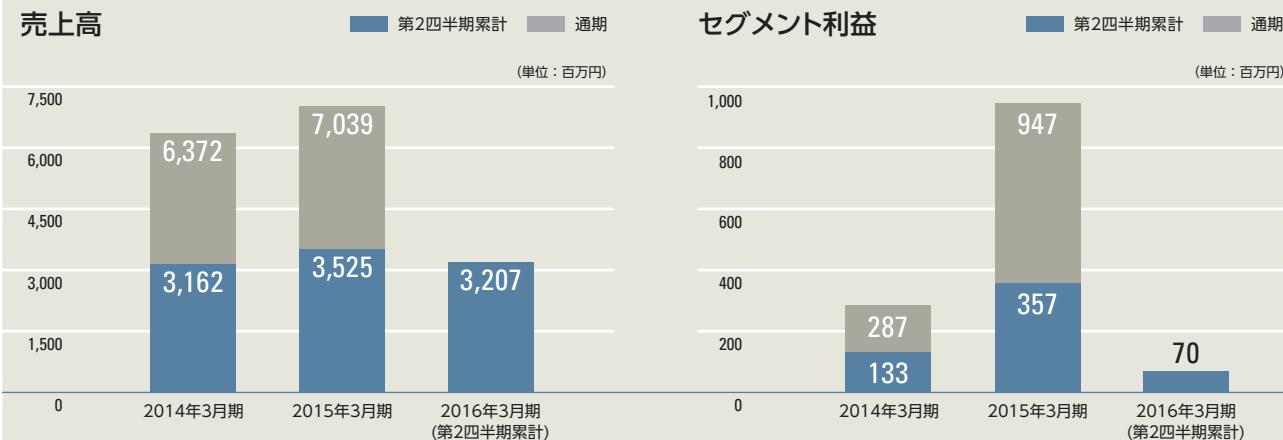
インバータ等電源装置用ダイオード/サイリスタモジュール

半導体事業



当事業におきましては、海外需要のウエイトが高まっているなか、主力の一般モジュールでインバータ(特にエレベーター用、掘削ポンプ用)が原油安や中国の景気減速によるインフラ投資が低迷した影響を受け、減収となりました。

これらの結果、当事業の売上高は32億7百万円(前年同期比9.0%減少)となり、セグメント利益は減収及び固定費の増加などにより7千万円(前年同期比80.3%減少)となりました。



電源機器事業



当事業におきましては、一般電源で評価用大型設備電源が牽引し、売上高が23億4千3百万円(前年同期比115.3%増加)と大幅に増加したほか、金属表面処理用電源が海外の電子部品向けで堅調に推移し、売上高が12億9千5百万円(前年同期比11.7%増加)となりました。一方、インバータでは太陽光パワーコンディショナにおいて小型品の販売が終息に向かっていることにより減収となったことや、主力の大型においてもユーザー側の設置工事の遅延等により、売上高は18億1千5百万円(前年同期比17.2%減少)と伸び悩みました。

これらの結果、当事業の売上高は77億3千6百万円(前年同期比20.2%増加)となり、セグメント利益は増収により9億6千2百万円(前年同期比142.8%増加)となりました。



Point 1 資産合計

退職給付に係る資産が5千4百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が4億2千7百万円減少したこと等により、前期末比4億3千3百万円減少いたしました。

Point 2 負債合計

買掛金が1億6千7百万円、未払法人税等が3億6千4百万円減少したこと等により、前期末比10億3千8百万円減少いたしました。

Point 3 純資産合計

利益剰余金が5億7千9百万円増加したこと等により、前期末比6億4百万円増加いたしました。

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2015年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	19,867	19,927
固定資産	7,706	8,080
有形固定資産	6,788	7,198
無形固定資産	400	413
投資その他の資産	517	468
資産合計	27,573	28,007
(負債の部)		
流動負債	7,885	8,923
固定負債	418	418
負債合計	8,304	9,342
(純資産の部)		
株主資本	18,412	17,832
その他の包括利益累計額	857	832
純資産合計	19,269	18,665
負債・純資産合計	27,573	28,007

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	10,943	9,961
売上原価	8,018	7,234
売上総利益	2,924	2,727
販売費及び一般管理費	1,892	1,973
営業利益	1,032	754
営業外収益	43	82
営業外費用	74	78
経常利益	1,001	757
特別利益	15	0
特別損失	4	5
税金等調整前四半期純利益	1,012	753
法人税、住民税及び事業税	247	75
法人税等調整額	35	133
四半期純利益	728	543
親会社株主に帰属する四半期純利益	728	543

(注1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」を「四半期純利益」に、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	331	1,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 222	△ 1,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 149	961
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	76
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△ 50	722
現金及び現金同等物の期首残高	6,204	5,212
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,153	5,934

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 4 売上高

半導体事業においては、主力の一般モジュール等が前年同期比で減収となったことと、電源機器事業においては一般電源で評価用大型設備電源等の納入があり、売上高は109億4千3百万円(前年同期比9.9%増加)となりました。

Point 5 営業利益

電源機器事業においては、増収等により大幅に増益となりましたものの、半導体事業においては減収及び固定費等の増加が影響し、営業利益は10億3千2百万円(前年同期比36.9%増加)となりました。

Point 6 営業活動による
キャッシュ・フロー

資金の流入として売上債権の減少額4億4千4百万円などがあったことと、資金の流出としてたな卸資産の増加額5億2千2百万円、仕入債務の減少額1億6千4百万円などがあったことによりです。

Point 7 投資活動による
キャッシュ・フロー

主に有形固定資産の取得による支出2億6百万円があったことによりです。

Point 8 財務活動による
キャッシュ・フロー

主に配当金の支払額1億4千9百万円があったことによりです。

会社概要

商号 株式会社三社電機製作所
 本社 大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
 設立 昭和23年4月28日
 資本金 27億7,427万7,500円
 従業員数 (連結)1,000名(単体)724名
 主要取扱商品 ●半導体素子
 ダイオード・サイリスタ・トライアックのモジュール製品
 及びディスクリート製品
 ●電源機器
 直流電源、金属表面処理用電源、交流無停電電源装置、
 電動機制御用電源、電気炉用電源、調光装置、
 光源機器用電源、洗浄機、アーク溶接機、
 歯科用機器、交流電源装置

役員

代表取締役社長 四方 邦夫 監査役(常勤) 四方 英生
 取締役副社長 吉村 元 監査役(社外) 小川 洋一
 取締役 荒井 亨 監査役(社外) 折井 卓
 取締役 藤原 正樹
 取締役 赤木 耕司
 取締役 阪上 宏
 取締役(社外) 宇野 輝

事業所

国内 本 社 営 業 大阪市東淀川区西淡路3-1-56
 東 京 支 店 東京都台東区東上野1-28-12
 九州営業所 福岡市博多区博多駅東2-15-19
 滋 賀 工 場 滋賀県守山市勝部町452-1
 岡 山 工 場 岡山県勝田郡奈義町柿1741

海外 韓国駐在員事務所(ソウル)
 台湾駐在員事務所(台北)

子会社

海外 SANREX CORPORATION(アメリカ)
 SANREX LIMITED(香港)
 SANREX ASIA PACIFIC PTE.LTD.(シンガポール)
 三社電機(上海)有限公司(中国)
 佛山市順徳区三社電機有限公司(中国)



技術力で世界をつなぐ
 三社グループのネットワーク

株式の状況

■発行可能株式総数 42,600,000株
 ■発行済株式の総数 14,950,000株
 ■株主数 3,642名
 ■単元株式数 100株

大株主の状況

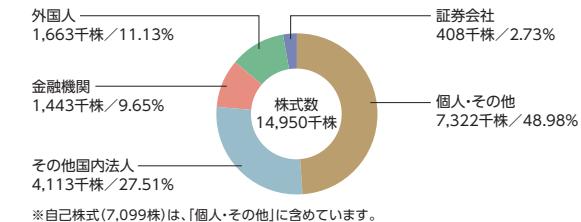
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
パナソニック株式会社	3,364	22.52
四方 邦夫	1,088	7.28
三社電機従業員持株会	368	2.46
三井住友信託銀行株式会社	326	2.18
株式会社池田泉州銀行	314	2.10
森田 浩一	300	2.01
日本証券金融株式会社	287	1.93
株式会社三井住友銀行	280	1.88
株式会社SBI証券	195	1.31
四方 ちま子	179	1.20

(注)持株比率は、自己株式(7,099株)を除いて算出し、小数点以下第3位を四捨五入しています。

株価の推移



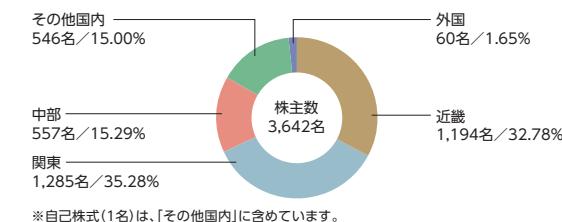
所有者別株式分布状況



所有者別株主分布状況



地域別株主分布状況



1株当たり四半期(当期)純利益の推移



1株当たり配当金の推移

